

2024年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）

試験区分	☒ 一般入試 ☒ 外国人留学生特別入試 ☐ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	専門試験（社会学）
出題の意図	問1では、Yuval Noah Harari の <i>Sapiens A Brief History of Humankind</i> の原文の一部を読ませ、（1）社会性に関する説明を通して、社会学の基本的な考え方と英語の表現力と、（2）英文の読解力を問うている。 問2（1）では、量的調査の基本知識を、（2）では社会調査における倫理問題に関する基礎知識を、それぞれ問うている。 問3では、社会学における重要な概念に関する基礎的な知識を問うている。

2024年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 社会学 全2枚のうち1枚目

この試験では、試験問題2枚、解答用紙5枚を配付する。

「問1（1）」、「問1（2）」、「問2」はそれぞれ解答用紙を1枚ずつ使用すること。「問3」は解答用紙を2枚使用すること。解答用紙の冒頭に問番号を明記すること。

問1. 以下の英文を読み、（1）と（2）に答えなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Harari, Yuval Noah, *Sapiens A Brief History of Humankind*, 2011, Vintage. （一部改変）

- （1） 人類が“social animal”（下線部（1））であるとはどういうことか、説明しなさい。英語で解答すること。
- （2） 下線部（2）の内容について、筆者はなぜこのように主張しているのか、本文に基づいて説明しなさい。日本語で解答すること。

問2. （1）と（2）に答えなさい。日本語で解答すること。

- （1） 量的調査における有意抽出法のメリットとデメリットについて、それぞれ具体例をあげて説明しなさい。
- （2） ラポールとオーバーラポールについて、それぞれ具体例をあげて説明しなさい。

問3. ①～⑧から5つを選び、それぞれ200字以内で説明しなさい。日本語で解答すること。

- ① リベラリズム
- ② 社会的ジレンマ
- ③ 家産制
- ④ 生活保護
- ⑤ インナー・シティ
- ⑥ 外婚制
- ⑦ 内部労働市場

⑧ 中範囲の理論